

# 柔道競技大会実施要項

1. **大会名** 第62回筑紫区中学校柔道競技大会
2. **期日** 令和元年7月6日(土曜日)
3. **会場** 太宰府市総合体育館 1階柔道場
4. **参加校** 大野中学校 平野中学校 二日市中学校 筑紫野南中学校 春日中学校 春日東中学校  
春日北中学校 春日野中学校 春日南中学校 春日西中学校 学業院中学校 太宰府  
東中学校 那珂川南中学校 計13校

## 5. 参加資格

- (1) 筑紫区紫区中学校体育連盟規約『大会出場資格』による
- (2) 団体は男女とも各校1チームとする。(男子 選手5名 補欠2名 監督1名) (女子 選手3名 補欠1名 監督1名)
- (3) 男子個人は次の階級で行う。50kg級 55kg級 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 90kg級 90kg超級  
女子個人は次の階級で行う。40kg級 44kg級 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 70kg級 70kg超級  
個人戦の出場者は、参加申込をした階級の体重の範囲に入っておくこと。  
例えば、男子60kg級の出場者は、必ず、当日朝の計量で、体重が55kgを越えていて60kg以下となっていること。

6. **開始時間** 開場 8:30 集合・受付 8:30 計量 8:35~9:00  
監督・審判会議 9:45 開会式 10:00 終了次第試合開始  
先生方は8:00から会場に入れます。

## 7. 競技方法

### 【団体戦】

- (1) 参加チーム数によって、専門部会で協議し、組み合わせを決定する。  
(3~5チームならばリーグ、6チーム以上ならばトーナメントを基本とする。)
- (2) チーム間の勝敗の決定は下記の通りとする
- ①勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ②①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者の多い学校を勝ちとする。
- ③②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ④③で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ⑤④で同等の場合は、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。  
なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
- (3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。
- ①例：3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
- ②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。
- ③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
- ⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。
- ⑩⑨で同等の場合は、代表戦(1名)による順位決定戦を行う。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。

### 【個人戦】

- (1) トーナメント形式によって行う。ただしその階級の参加選手が3人の場合、リーグ戦を採用する。
- (2) 得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

## 8. 競技規則

- (1) 国際柔道連盟審判規定（2018年施行の新ルール）、「少年大会申し合わせ事項」および本大会の申し合わせ事項による。
- (2) 勝敗の判断基準は、団体戦においては、「一本」「技有」または、「僅差（指導の差2以上）」とする。  
個人戦においては、「一本」または「技有」または「僅差」以上とする。
- (3) 代表戦の判定基準は団体戦と同様にするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗は、改正ルールを適応せず、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で決する。（本年3月まで適応していた内容で試合を終了する）
- (4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。  
「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「僅差」
- (5) 試合時間は、個人戦、団体戦ともに3分とし、延長戦は無制限とする。
- (6) 競技規則に問題が起こったときは、専門部会で協議する。
- (7) チーム編成（オーダー）は体重順とし、一番軽いものが先鋒、一番重いものが大将とする。なお、補欠の選手を入れる場合も体重順になるようにする。（体重が同じときは、新たに入るものが先鋒に近い方とする。）
  - ①試合は、選手5名（女子3名）の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。  
尚、当日の軽量で順番が入れ替わることがある。
  - ②一度退いた選手は、再出場することはできない。
  - ③選手名簿提出後のオーダーの変更は認めない。もし、選手及び補欠が事故等のために変更する場合は、大会開始前において、学校長の職印を押した届けをもって、これを認める。※補欠選手の補充を行う。
  - ④補欠が全員出場してなおかつ事故があった場合には、欠員のまま試合を行う。（選手は大將側から詰めて並べる）
- (8) 柔道着の色は白色とし、女子の黒帯について、白線入りは認めない。
- (9) 柔道着にゼッケンを使用して試合をする。（学校名・名字入り）
  - ①布地は白色とし、サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
  - ②名字（姓）は上側2／3、学校名は下側1／3とする。
  - ③書体は太字ゴシック体とする。（明朝または楷書でもよい）
  - ④文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
  - ⑤襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (10) 女子は、上衣の下の部分に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。  
（全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行）

## 9. 申し合わせ事項

- ・個人戦は、各階級の選手を記入する際、実力順に強い生徒から書く。
- ・中学校名以外のネームが入った柔道着は、使用しない。（柔道教室名など）
- ・個人戦出場者数に、各校の出場制限数を設けないが、受け身など柔道の基本的技量が不十分な生徒は、安全確保のため、出場させない事。
- ・団体戦には、男子3名、女子2名以上で出場できる。  
なお、大会途中にケガ等で上記の人数を満たさない場合、トーナメント戦では棄権することになるが、リーグ戦の場合、のこる人数でリーグ戦を続けるものとする。（リーグ戦では、勝ち点計算の関係上）
- ・監督およびコーチは、審判に準じた服装とし、マナーを守って指導に当たること。

## 10. 専門部長

細田 貴義（二日市中学校 〒818-0061 福岡県筑紫野市紫1-6-1 TEL 923-2101 Fax 923-0530）  
大会当日 緊急時の連絡先 太宰府市総合体育館

## 11. 大会役員

**審判員** 細田 貴義（二日市） 吉原 大輔（平野） 他 外部審判員

**競技役員** 西田 泰章（二日市） 菅 啓太（大野） 石本美紀（大野） 一柳律子、光武友香（春日）  
中川美香（春日東） 深川大樹（春日西） 服部洋子（春日南） 秋吉 文、越智 正子（平野）  
山崎三喜男、松田崇志、高木幹宏（学業院） 藍澤かすみ（太宰府東） 初山翔、小田陽子（那珂川南）  
橋本郁美（筑紫野南）

## 12. 表彰

団体・個人とも、3位までを表彰する。

（本大会の団体3位、個人3位までになった者は筑前大会出場義務がある。）

## 13. 出場申し込み

**6月14日（金）**までに、規定の用紙に書き込み、校長職印を押し、二日市中の細田まで提出する。

（6/14必着。FAX可（Fax 923-0530）。期日に間に合わなかったら、棄権したものと見なします。）

## 14. 組み合わせ

**6/25（火）**の専門部会で組み合わせを決定する。

## 15. その他

AED設置場所・・・事務所

**筑前大会の申し込み書は、筑紫区大会の終了後回収します。職印を押し、ご持参下さい。**